

# わおん

第59号

2020年7月発行

夏号

〒370-0016  
群馬県高崎市矢島町449-2  
駒井病院 地域連携室

TEL 027(352)6100  
FAX 027(352)6217

「わおん」とは、いくつもの違う音が重なり1つの美しい音を作る“和音”。  
連携もこうありたいとの願いです。

## 特集

## 認知症ケアチーム始動！ 専門知識を有した多職種で関わり、適切な治療を



### 『その人らしくいられる場所』へ できるだけ早くお戻りいただくために

厚生労働省の高齢者白書によると、65歳以上の高齢者人口は徐々に増加の一途をたどり、2025年には、認知症者は、軽度認知症者を含めると約700万人と予測され、今後も増加が推測されています。このような状況下で、認知症の方が、少しでも安全に治療を受けられるように、また、安心して入院生活を過ごしていただけるように、そしてその人らしくいられる場所へ戻れるように、当院では、2020年5月に認知症ケアチームの活動を開始いたしました。

認知症ケアチームでは、身体的な不調をきたし、入院をきっかけに、混乱やせん妄、不安、精神的苦痛を招くと予測される高齢の方に対して、専門的な知識を持った多職種がチームとなり、連携を図る事で、認知症状の悪化を防ぐこと、および身体疾患の治療が円滑に受けられるよう支援する事を目的とし、活動しています。



専任常勤医師

特別顧問

梶原 文子 (医師)

駒井 和子 (医師)

認知症は誰もがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなども含め、多くの人にとって身近なものとなっています。近年では高齢者の4人に1人が認知症またはその予備軍と見られています。

厚労省は令和元年6月に認知症施策の推進として、「共生」(認知症の人が尊厳と希望を持って認知症とともに生きる、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる)と「予防」(認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を穏やかにする)を挙げています。

認知症は他の疾患以上に看護、あるいは介護サービスで状態が改善する 경우가少なくありません。駒井病院では認知症看護認定看護師、認知症サポート医を配置し、認知症ケアチームによる医療・介護スタッフのケアの支援、連携を行っていくことになりました。認知症患者さんの容態に応じて多職種で切れ目なく関わりを持っていきたいと思っております。

## 多職種で情報を交換・共有し、患者様を支援

認知症ケアチームでは、医師・看護師（認知症看護認定看護師・病棟看護師）・社会福祉士・作業療法士・管理栄養士・薬剤師のメンバーで、週1回カンファレンスと各病棟の巡視を行っています。入院患者様の認知症状に対しての情報交換・情報共有をし、多職種の視点で意見を出し合い、その方が、安心して入院生活を送れるように、個々に応じた関わりの検討を行っています。多職種が関わる事で、視野も広がり、新たな関わりにつながっています。まだ始動し始めたばかりですが、今後も認知症の方がその人らしくいられるよう、支援していきたいと思えます。



### 専任常勤看護師

**医療安全管理室**  
室長 深沢 智子（認知症看護認定看護師）

認知症を患っていても、一人の人として尊重され大切にされる存在であることには変わりありません。ご本人の視点に立ち、私たちと同じ一人の人として関わり、その人個人の尊厳を守る事を大切にしています。

認知症の方の強み、もてる力に着目し、その方の思いを少しでも理解できるように多職種で関わり、安心して療養していただけるような環境を提供できるよう心掛けています。



### 専任常勤社会福祉士

**地域連携室**  
副主任 竹生 文子（社会福祉士）

認知症の方の抱える多様化する課題に対し、ともに向き合い、チームで共有しながら解決に向けて努力してまいります。認知症があっても自己決定の尊重を大切に、その人らしく生活の場に戻れるよう、必要な制度やサービスなどの社会資源につなげ、「安心」できる支援を心掛けてまいります。



**栄養科**  
科長 春日 千江美（管理栄養士）

認知症にともなう栄養や食事の問題は、認知症の原因疾患や重症度によって個人差が大きく多種多様です。そのため、個人対応が必要不可欠になります。食事・栄養管理を通じて、患者様の生活の豊かさを得られるようサポートしてまいります。



**リハビリテーション科**  
小島 結香（作業療法士）

リハビリ科では、PT・ST・OTと連携や情報交換を行い、それぞれの専門性を活かしながらその人らしく生活できるよう支援しています。

DCTのカンファレンス時には患者様の身体や認知機能の評価結果など、できる能力や穏やかな過ごし方などを他職種と共有することで、その人らしく快適な療養生活を過ごしていただけるよう考察しています。



**薬剤科**  
係長 吉井 健二（薬剤師）

高齢者に起こりやすい薬の副作用は、「ふらつき」「転倒」や「物忘れ」です。薬を5種以上使う高齢者の4割以上に起こるといわれ、転倒による骨折で寝たきりになる、寝たきりから認知症を発症する可能性もあります。

しかし、「多すぎる薬は減らす」ことが大事ですが、「薬を使わなくていい」ということではありません。薬との上手な付き合い方が大切です。

## のぞいて見よう

## 駒井病院

### 駒井病院グループにおける認知症対応型施設のご案内

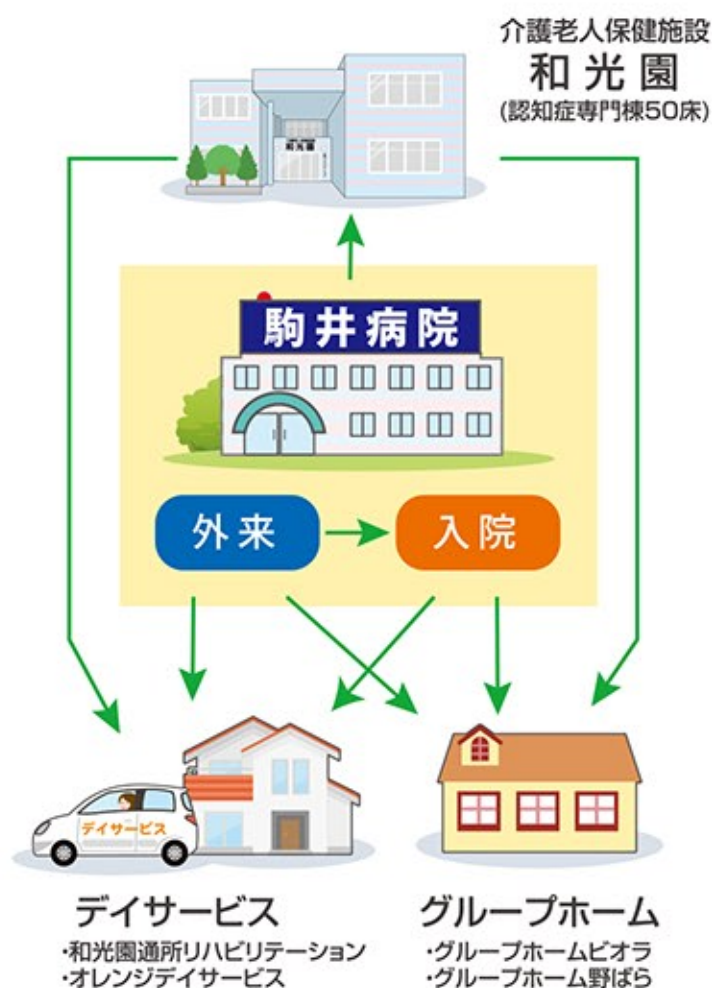
駒井病院の近隣関連施設では、認知症の方々に専門的ケアを行う介護老人保健施設・通所リハビリテーション・グループホーム・認知症対応型通所介護の運営を行っています。

老健の和光園では、認知症専門医の指示のもと、作業療法士や言語聴覚士等が積極的に認知症短期集中リハビリテーションを行い、認知機能の改善や維持を図っています。また、認知症ケア専門士を持つ職員も多数おり、認知症ケア強化ミーティングにて多職種で協働しながらチームケアを行っています。通所リハビリテーションやショートステイも行っており、ショートステイ等では緊急でのご入所も可能です。

グループホームビオラ・野ばらでは、少人数だからこそできる個別ケアに重点をおき実践しています。長期入居も可能で、入居されて10年という方もいらっしゃいます。

オレンジデイサービスは、認知症の方のみを対象にした12名の少人数デイサービスです。認知症の方が1日でも長くご自宅で生活できるよう、他の事業所と連携を図りながら在宅支援を行っています。

認知症の方やご家族のニーズに沿った介護を提供できるよう、多様な介護施設・サービスがあります。認知症でお困りのケースは、ぜひご相談ください。



#### 認知症対応型通所介護 オレンジデイサービス (定員12名)

オレンジデイサービスは少人数という特性を生かして、ご利用者様お一人おひとりを尊重した過ごし方を大切にしております。常勤の作業療法士も在籍しており、日々の状況に合わせてリハビリも実施しております。ご家族様の状況に合わせて時間延長サービスも可能です。ぜひ、ご相談ください。

## 職員紹介

駒井病院及び関連施設の職員を順番にご紹介いたします。

### 厨房と病棟を繋ぐ栄養士として、患者様に寄り添った栄養管理を

私は平成26年6月より駒井病院に入職し、管理栄養士として日々業務に励んでいます。それ以前は養護老人ホームにて4年間勤務していました。当時は今より更に医療の知識が少なく、体調を崩されたご利用者様に対し、無力な自分を感じる日々を過ごしていました。勤務先の業務形態が変わる際に一から勉強し直す必要性を感じ、縁あって採用していただきました。現在もまだまだ勉強中の身ですが、皆様のご指導により患者様の栄養管理に携わることができています。

当院では患者様に寄り添った栄養管理が特徴です。単純にエビデンスに基づいた栄養療法を行うのではなく、当法人の理念に基づいた対応が他にはない魅力だと感じています。食事提供も厨房直営ならではの柔軟な対応を行っており、患者様の状態に応じた食事内容の調整や補助食品の選定を実施しています。厨房と病棟を繋ぐ栄養士としてこれからも患者様に「やさしさ、やすらぎ、生きがい」を感じていただけるよう邁進していきたいと思っております。



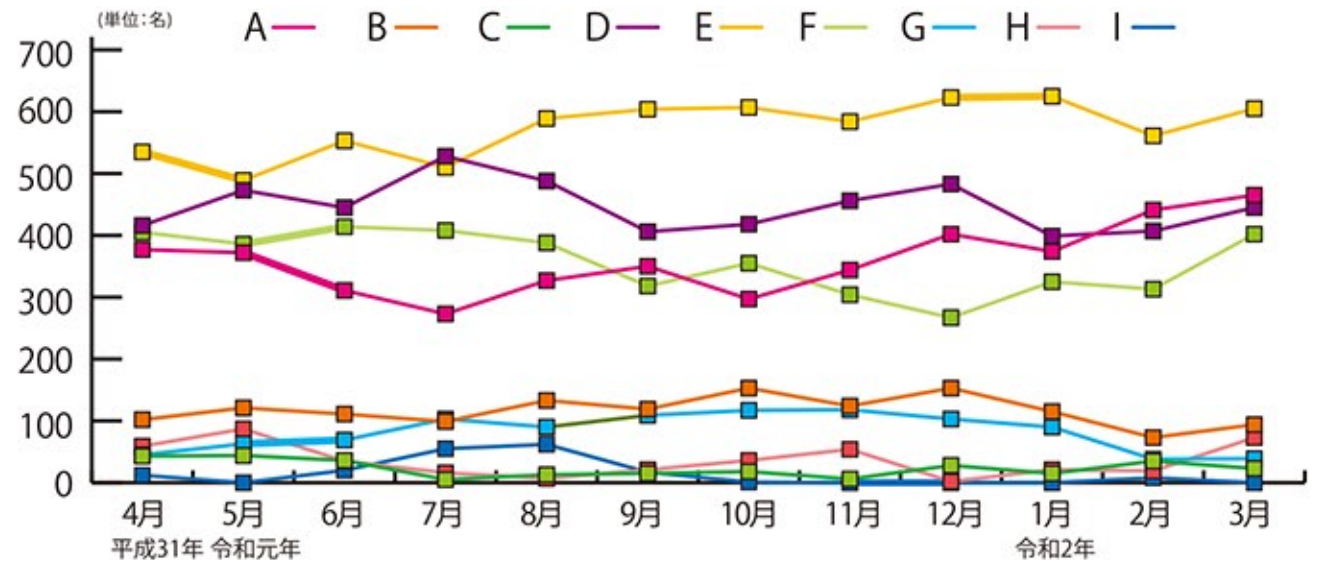
栄養科 副主任  
柳澤 隼人  
(管理栄養士)

令和元年度  
入院患者様  
入院元比率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
急性期病院からの新規	58	63	65	48	44	58	62	55	72	61	50	46
急性期病院以外からの新規	10	13	12	7	25	9	9	9	9	8	9	15
在宅系以外からの新規	0	0	4	10	0	3	3	9	3	6	6	3
自宅、在宅施設からの新規	32	25	19	34	31	30	27	27	16	25	34	36

令和元年度  
療養病棟の  
医療区分・  
ADL区分別  
患者数

	ADL3	ADL2	ADL1
区分3	A	B	C
区分2	D	E	F
区分1	G	H	I



R元年度は急性期病院からのご紹介がさらに増え、前年比109% (31名増) というご紹介をいただきました。地域包括ケア病床では在宅復帰率70%を維持し、急性期治療後から在宅復帰への橋渡しを継続して行っております。今後も地域医療機関の皆様との連携を密に、スムーズな医療連携を心がけてまいります。引き続き、ご厚情賜りますようお願い申し上げます。

地域連携室では、入院・転院のご相談はもちろん、介護施設入所・各種制度ご利用などのご相談にもお乗りしています。どうぞお気軽にお問い合わせください。



地域連携室直通番号

代表電話  
よりも早い!

☎ **027-352-6100**

メールでのお問い合わせ ▶ [renkei@komai-hp.com](mailto:renkei@komai-hp.com)



■基本理念

やさしさに出会う医療を  
やすらぎに出会う医療を  
そして  
生きがいに出会う医療を

■基本方針

1. 私たちは、人間の尊厳を大切にし、患者様の立場に立った、信頼を得る医療を提供します。
2. 私たちは、高齢者医療専門機関として、誠実で安心な医療・看護・介護サービスを実践します。
3. 私たちは、社会人としての倫理観を持ち、医療の質向上のため研鑽を積み、地域や組織に貢献します。
4. 私たちは、地域の人々の支えとなる慢性期医療機関としての役割を実践し、地域包括ケアシステムの一翼を担います。